



日刊自動車新聞

発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
購読料 1カ月5343円+税
電話 東京(03)5777-2351代表
©日刊自動車新聞社2017

Jidosha
Next New Nikkan

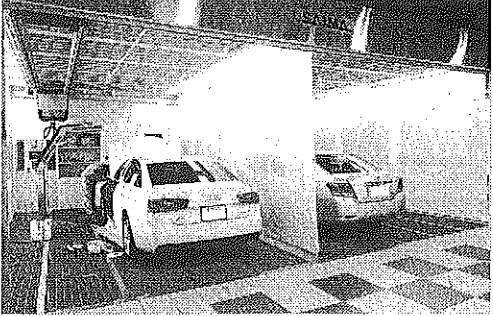
11月17日
(金曜日)

B P 修理の入庫誘導先

テュフ認証工場を優先

チューリッヒ保険

チューリッヒ保険会社(西浦正親CEO、東京都中野区)は、板金塗装(BP)修理の入庫誘導先として、テュフインランドジャパン(トビアス・シユヴァインフルター社長、横浜市港北区)が認証するBP工場を優先する試験運用を来年から開始する。これまでは自社基準に基づき入庫先を指定工場化してきたが、今後は透明性の高い第三者基準に沿って入庫先を決定する。現在、BP業界は高度化する車両技術や新素材への対応が求められ、事業者の経営環境は厳しさを増している。その中で同社は独自の永久保証を担保するために、高い修理品質と整備機器を兼ね備え、法令順守などを徹底するテュフ認証工場を優先入庫先と選別することにした。



透明性の高い第三者基準に沿って入庫を進める(写真はテュフ認証を取得した日免オートシステム)

入庫誘導先となるのは、テュフが認証するBP工場の中で最上位カテゴリーの「プラチナ」、高水準ランクの「ゴールド」。さらに、テュフが監査を行っているBSサミット事業協同組合によるエクスレント車体整備工場も対象となる。

最新の車両技術に対応する修理品質と設備をもち、環境配慮や法令順守、業務効率化など多岐にわたる項目で一定の水準をクリアした工場が認定されている。

同社は来年から試験的に入庫誘導を始める計画。まずは

地域を限定した上でテュフ認証工場への入庫を進める。

また、同社は契約者個人に合わせた事故対応を案内す

る「パーソナライズ動画」の中で指定修理工場を紹介しているが、同サービスでもテュフ認証工場を優先させる方針だ。

同社が第三者認定を入庫誘導基準として採用するのは、自動ブレーキといった先進安全技術が本格普及期を迎え、超高張力鋼板やアルミニウム、樹脂など新素材の採用拡大が急速に進んでいるからだ。

今後同社独自の修理箇所の永久保証を提供するには、「確実な修理が行え、安心感を与えられるテュフ認証工場」(同社)が最適な入庫先と判断した。